

第39号

平成26年7月15日



神石高原町

# みんなの 町議会



神石高原中学校 体育祭「綱引き」

- 第2回議会報告会に多数のご参加  
ありがとうございました ..... 4
- 町政のここを聞く(一般質問) ..... 6
- 元気なグループ ..... 14

**26年度  
6月補正予算  
2億4,723万円**

# 第2トマト団地地形測量費

**追加補正 2,181万円**

## 平成26年6月 一般会計 補正予算

単位：万円（四捨五入）

費目	補正予算	補正後予算	主な内容
議会費	530	9,212	
総務費	1,786	13億8,857	雇用対策基金 697 自治宝くじ助成 440 協働のまちづくり支援事業 487
民生費	▲4,084	18億2,934	社会福祉総務経費 ▲108 介護保険特別会計繰出経費 232
衛生費	▲4,317	12億905	病院事業会計補助経費 3,666 やすらぎ苑施設経費 100
農林水産費	6,097	7億7,373	農村地域総合推進事業 2,237 畜産振興整備事業 579 有害鳥獣駆除対策事業 850
商工費	1,164	1億2,150	中小企業育成事業 240 雇用促進奨励助成事業 800
土木費	3,095	7億2,482	町道維持補修経費 3,000 公営住宅管理経費 64
消防費	0	4億2,960	
教育費	▲128	6億1,849	学校教育諸経費 ▲259 保健体育施設管理運営経費 600
災害復旧費	0	3	
公債費	2億114	18億3,035	長期債元金繰上償還経費 2億114
諸支出金	466	4億963	協働のまちづくり事業基金積立経費 454
予備費	0	4,000	
合計	2億4,723	94億6,723	

一般会計の財源は、町税1,467万円、国庫支出金844万円、県支出金2,768万円、繰入金1億844万円、諸収入593万円などを財源とし補正しています。

●用地計画概要	
第1工区	第2工区
用地面積	用地面積
造成面積	造成面積
畑地面積	畑地面積
ハウス建築面積	ハウス建築面積
10 ha	10 ha
15 ha	15 ha
20 ha	20 ha
25 ha	25 ha
5 ha	5 ha

●鳥獣被害対策	
ワイヤーメッシュ柵	
時安竹之上地区	7,470 m
時安大忠地区	4,860 m
大型獣用（イノシシ用）箱罠	18基
850万円	

●町道維持補修	
緊急修繕対応	
支障木対策	2,000万円
その他緊急修繕対応	1,000万円
3,000万円	

●長期債元金繰上償還	
減債基金を活用し、繰上げ償還を行った。	2億113万円

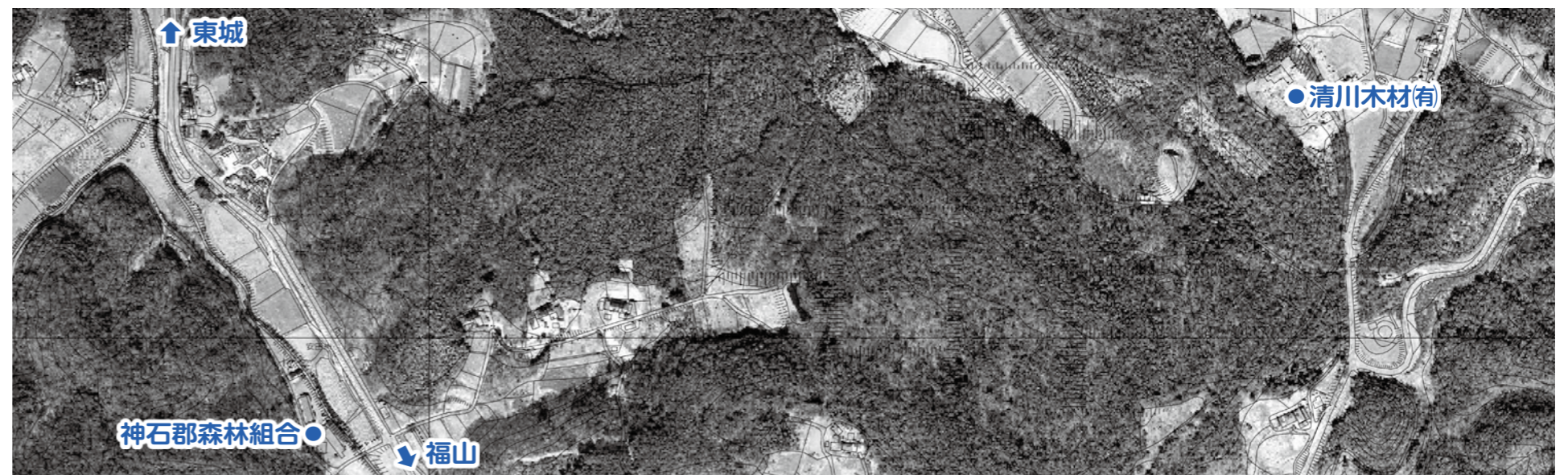
**第2トマト団地（安田・李地区）  
整備面積を拡大  
38ha追加**

6月定例会は、6月10日から17日まで開かれました。平成26年度各会計補正予算や、専決処分承認6議案、議員発議3議案を含め、すべて原案通り可決しました。また第3セクターの経営状況や繰越明許費繰越計算書の報告が8件ありました。一般質問では、10人の議員が当面の行政課題をただししました。

## 特別会計・病院事業会計 補正予算

単位：万円（四捨五入）

会計名	補正予算額	補正後予算額
国民健康保険特別会計	1,322	11億5,712
事業勘定	1,322	11億5,322
診療施設勘定	0	390
後期高齢者医療特別会計	230	3億9,870
介護保険特別会計	4,798	19億8,178
保険事業勘定	4,645	19億6,325
介護サービス事業勘定	153	1,853
簡易水道事業特別会計	719	2億719
飲料水供給施設事業特別会計	200	4,140
農業集落排水事業特別会計	161	2億5,901
分収育林事業特別会計	0	100
総合開発事業特別会計	593	5,803
特別会計計	8,023	41億423
病院事業会計	0	4億5,131
合計	8,023	45億5,554



第2トマト団地予定地（安田・李地区）付近

# 第2回議会報告会に多数のご参加 ありがとうございました

## ご意見に対して

### ○議員定数・報酬

**町民** 議員定数・報酬については、本日の参加が少ないことを考えれば、議員に期待が無いのかと思う。定数減、報酬アップで少数精鋭、専任化し、力を持つ議会を望む。

### 議会

現在議員全員で、研究会を立ち上げ検討しています。本年住民アンケート調査を計画していますのでご協力お願いします。



豊松地区会場

議員間討議も十分に行い、27年の12月には決定する予定です。

### ○議会改革

**町民** 議会報告会は参加者が少ない。検討を。

### 議会

次回に向け、内容の充実や参加依頼などについて検討します。

### ○行財政

### 町民

平成29～30年に新庁舎の建設が議論されているが疑問をもっている。町民が納得する結果を期待します。

### 議会

皆様のご意見をしっかりと聞いた上で、議員間で十分議論し、議会としての方向性を見いだしていきたいと思っています。

## 主なご意見

### ○子育て支援・少子化対策

### 町民

子どもを産める若い女性が住みなくなるような「魅力あるまちづくり」を望む。



三和地区会場

### ○定住・自治対策

### 町民

高齢者のひとり暮らしや、80歳以上で夫婦暮らしの方も増え心配している。

協働のまちづくりの中で高齢者対策をどうするか、行政は縦割りでも上手くない。近所の住民の協働も必要であることも考慮し今後の対応を。

### ○まちづくり

### 町民

本町は、自然豊かで暮らしやすい。全国的に最も安全な町である。地震の被害も少なく津波は絶対に来ない。NPO法人の活動の拠点本部を本町に移転したという実績もある。安心安全な町として広くアピールし、防災拠点として、町を整備し全国からの避難民を含め、住む人を増やす施策を重点的に実施すべき。

## その他のご意見

- ・ 牧油木線の道路改良
  - ・ 支所機能の充実
  - ・ 日本創成会議の提言
  - ・ 有害鳥獣の残渣処分
  - ・ 百彩館の乾燥機活用
  - ・ やすらぎ苑の運営
  - ・ NPO法人の事業展開
  - ・ ドッグランの成果
  - ・ 職員の町外転出
  - ・ 紙ヒコーキタワーの施設整備
- などがありました。

## 議会として

町の課題について、貴重なご意見、ご要望を頂き誠にありがとうございます。議会に対してのご意見などを参考に、今後の議会活動に生かしていきたいと思えます。また町の重要課題もあり、各常任委員会で調査研究を深め、議会としてとりまとめ、行政に積極的に提言して参ります。

### ○第3セクター

### 町民

まるごと市場の現在の状況は、長期間にわたる行政の不作為と、議会のチェック機能の不足が原因だ。重要な施設であり無くしてはならないと思うが、どう対応するのか。

### ○6次産業化・ブランド化

### 町民

ブランド化において、従来から取り組んでいる牛・ナマズ・トマト・ハチミツについての将来展望はどうなっているのか。

### ○道路整備

### 町民

枯れ木、支障木除去については地域で簡単にできない箇所が多い。



神石地区会場

### ○バイオマス発電

### 町民

山の荒廃が酷い。昔は皆で山を守っていた。近年、里山の利用でバイオマス発電を行っている自治体が増えた。近隣の岡山県真庭市では成功例がある。バイオマス発電により売電出来れば町民の所得にも繋がる。研究してみたらどうか。

### ○病院・福祉

### 町民

平成21年三原病院の休院により無医地区となった。是非、豊松に医療機関をと地区民80%の署名で陳情を行った。住民意見を反映し、議会として努力し取組んでほしい。

# 町政の「111」を聞く

質問時間は、答弁を合わせて  
一人二時間以内で一問一答方式



寄定 秀幸 議員

## 問 人口減少にどう 対応するのか

答 施策の連携が必要だ

町長 町長 総合的に施策の連携が必要だ。組織整備は、ネーミングなども含め検討したい。

町長 日本創成会議の発表は、危機感をあおるためでなく、国に対する真摯な提案であり、本町の推計数値についても真剣に受け止めている。

町長 福山市は、人口流出防止に取り組み、総務省の「地方中枢拠点都市整備事業」に応募している。また移住、出産・育児、保育、就学、就業など、一貫した支援策も研究したい。

町長 総合的であり、効果のある施策を。早急の実施するための体制整備が必要では。

町長 理想的な住み方は「祖父母との近居」という内閣府の調査結果が発表された。「3世代同居・近居」支援の取り組みを検討すべきでは。

町長 地域包括ケアシステムとも関連する良い発想だ。総合的に取り組みたい。

町長 地域包括ケアシステムとも関連する良い発想だ。総合的に取り組みたい。

町長 福山市は、人口流出防止に取り組み、総務省の「地方中枢拠点都市整備事業」に応募している。また移住、出産・育児、保育、就学、就業など、一貫した支援策も研究したい。

町長 総合的であり、効果のある施策を。早急の実施するための体制整備が必要では。

町長 理想的な住み方は「祖父母との近居」という内閣府の調査結果が発表された。「3世代同居・近居」支援の取り組みを検討すべきでは。

町長 福山市は、人口流出防止に取り組み、総務省の「地方中枢拠点都市整備事業」に応募している。また移住、出産・育児、保育、就学、就業など、一貫した支援策も研究したい。

町長 地域包括ケアシステムとも関連する良い発想だ。総合的に取り組みたい。

町長 総合的であり、効果のある施策を。早急の実施するための体制整備が必要では。

## 問 神石高原中学校の ソフト面の充実

答 順調に取り組んでいる



松本 彰夫 議員

町長 神石高原中学校のソフト面の充実は、今後ソフト面の充実が大切だと思いが、順調に取り組まれているのか。

町長 落成式も終わり、一定の整備は完了し、順調に取り組まれている。

町長 新設校であるため、本の整理や、学校の備品整理など、軌道にのるまでの業務も行って。2学期からシルトピア図書館と連携しながら、町内7校を巡回する体制を整える。

町長 授業、クラブ活動など今後の課題は。新設校であるため、今から新しいスタイルを作りたい。地域との連携を深め、町民に愛される学校づくりに努める。

町長 各学校の司書、「ゆきんこの会」の皆さんなどと協議して具体的な方法を検討する。

町長 町立病院の今後の運営方針は。地域医療を担う病院を目指す。

町長 病床数を減らした場合の受け皿は。町内の介護サービス需要や、人口動態を検証し、介護施設との連携を検討する。

町長 他的小・中学校の受け入れ態勢は。土曜日午後の延長保育など行っている。

町長 企業の地方移転による雇用の場の確保など若者が住み、安心して結婚できる環境の整備が必要では。

町長 企業誘致などは相応な費用を投じ、大胆に進めなければならぬので、可能性は低い。本町では地味でも地域資源を活用した起業・雇用の場創出が適していると思う。

町長 単に雇用と住居などの問題だけでなく移住・出産・育児・保育・就学・就業など一貫した支援策も研究してみたい。

町長 少子化は晩婚化・未婚化が影響していると思うが、教育面からの支援は。安心・安全対策のための耐震化工事、小中連携による学力向上対策、放課後に子ども達ができる環境整備に努

町長 少子化は晩婚化・未婚化が影響していると思うが、教育面からの支援は。安心・安全対策のための耐震化工事、小中連携による学力向上対策、放課後に子ども達ができる環境整備に努

町長 郷土を愛し、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬や感謝の念を深めるなど各教科との繋がりを持たせた指導に当たっている。子どもを産み育てる直接的な指導はないが家庭、地域、学校が共に学びあえる環境づくりが重要と考える。

## 問 今後の農業生産体制をどう するのか



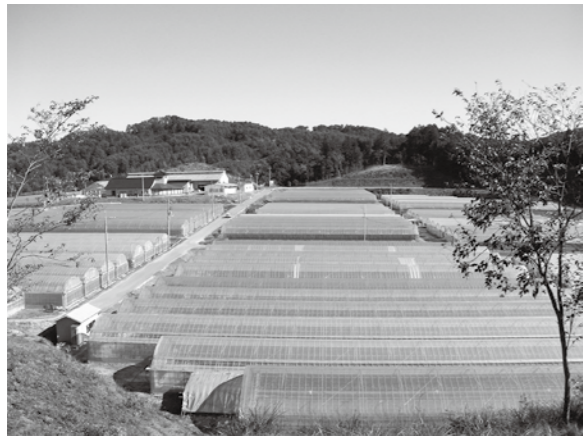
村上 克朗 議員

答 新規就農支援などの制度活用を進めたい

町長 30年後の人口が66%に落ち込み、農村地域の人口減が今後加速するなか、農業経営体力のある担い手の確保対策を急がなくては、農業生産活動や共同活動が弱体化、地域資源や定住基盤の崩壊が懸念される。そこで、油木高校卒業生と、地域おこし協力隊員・集落支援員・域学連携などでの定住の成果は。

町長 地域おこし協力隊員は農業を基盤においてはいないが、任期終了者2人は観光振興や農業に携わっている。

町長 基盤弱い弱である農業を付加価値があり儲かる農業にするために取り組んでいる。15人の新規就農者もおり、今後この取り組みを強化し



豊松トマト団地

町長 完成までに就農者の育成機関をつくり、短期体験農業・新規就農者に研修の助成や加工施設の整備はできないか。

町長 全体計画の策定や測量を進めている。栽培開始は平成32年春を予定している。新規就農者の育成機関の必要性は同感で、農業公社や既存の栽培農家との連携を図る。加工施設の整備は栽培状況や市場の動向を見ながら対応する。

町長 全体計画の策定や測量を進めている。栽培開始は平成32年春を予定している。新規就農者の育成機関の必要性は同感で、農業公社や既存の栽培農家との連携を図る。加工施設の整備は栽培状況や市場の動向を見ながら対応する。

## 問 少子化対策の充実を 図れ

答 子育て支援を充実させたい



藤田 晃己 議員

町長 出産・子育て支援事業の現状は。保健師による妊娠・出産・育児支援、小学校入学祝い金(第1子10万円、第2子20万円、第3子30万円)、こども医療負担事業、保育料の第3子以降半額に加え、平成26年から3歳児以上の給食の無料化、全保育所

町長 出産・子育て支援事業の現状は。保健師による妊娠・出産・育児支援、小学校入学祝い金(第1子10万円、第2子20万円、第3子30万円)、こども医療負担事業、保育料の第3子以降半額に加え、平成26年から3歳児以上の給食の無料化、全保育所

町長 少子化は晩婚化・未婚化が影響していると思うが、教育面からの支援は。安心・安全対策のための耐震化工事、小中連携による学力向上対策、放課後に子ども達ができる環境整備に努

町長 少子化は晩婚化・未婚化が影響していると思うが、教育面からの支援は。安心・安全対策のための耐震化工事、小中連携による学力向上対策、放課後に子ども達ができる環境整備に努



### 問 新庁舎建設は疑問

答 合併特例債の5年延長が千載一遇のチャンスだ

Q 町長は「合併10周年を迎えるにあたっての総括」も文書で発表した。県の財政硬直化により、依存財源の確保すら困難な状況であり、今後の人口減少などを考えれば、交付税が増額になることは考えられない。厳しい状況などと総括された。どうして新庁舎の建設なのか。

A 町長 将来へのツケとなる借金である、将来負担比率はマイナスとなった。マイナスとは、将来に負担をかけないということだ。現庁舎は、築57年で老朽化しており、合併特例債5年延長を、千載一遇のチャンスと捉えた。それが初代町長の責務と考え、後世に禍根を残したくない。提案

Q 3月定例会で、町長は新庁舎建設を表明。合併協定書の新庁舎建設条件の一つ「財政基盤の確立」は達成できたのか。

A 町長 合併当初は、第2の夕張になりうる危惧もある中、行財政改革推進により、県内でもトップクラ

権は私にあり、議決権は議会にあることは当然だ。

Q 町長の政治理念「信頼と合意」「選択と集中」などと新庁舎建設の整合性はないと思うが。

A 町長 新庁舎は、新町の基盤整備の一端であり、政治理念に何ら反するものではない。

Q 喫緊の課題である町立病院の改築または新築を優先すべきでは。

A 町長 最優先される課題であり、今年度中に結論を出す。

### 問 ナマズ産業化への方向性は

答 ふ化の状態をみて具体的に進めたい



町長 ナマズのことに関して言えば、ふ化のメドが立たないと町として進めていくのも難しい。ふ化の状態をみて団体への補助も考えていく。

Q ナマズの産業化に対し、油木高校では、ふ化に取り組んでいる段階であり、地元でもナマズを養殖していこうという団体も頑張っている。

A 町長 報道によるイメージばかりが先行してしまい、現状とかい離している。町民にとって、将来的なビジョンがはっきり見えていないのでは。

A 町長 行政としても強い思いを持ってやっている。今後の方向性であるが、ふ化が課題になっている。自前でできないとコストがかかりすぎて採算が合わないのが問題だ。荒地地を考

えてのことなので崇高な思いを深く重く受け止めて産業化に向けていく。また、ふ化成長が成功した段階で支援会議のようなものをつくって、高校とのパイプ役を広く町民に求め、組織をつくり進めていきたいと考えている。

Q ナマズの産業化に向けて動いている団体があるが、これに対して何かしらのアプローチはしているか。

A 町長 ナマズの産業化に向けて動いている団体があるが、これに対して何かしらのアプローチはしている。



宣伝するナマッシー



ナマズの天井など販売する油木高生(マツダスタジアム)

問 「神石牛」の構築に向けた取り組みは 答 歴史と伝統をふまえた復興を図りたい 妹尾 幸太郎 議員

Q 高付加価値型畑作農業の推進には、畜産振興も必要であり、「神石牛」を柱とした将来ビジョンの取り組みは。

A 産業課長 「神石牛」固有の血統を持つ牛は少ない状況であり、消費者のニーズを第一に関係者と協議し調整している。

A 町長 歴史と伝統を踏まえ、「神石牛」の復興を図りたい。現在、町で認定基準作りをしている。スタートは緩やかな基準で行きたい。飼育頭数が少ないので、増頭対応が問われている。復活すれば畜産農家のプラスになり、ぜひとも振興を図りたい。

Q 「神石牛」銘柄の基準づくりの進捗状況と関係者の合意は。

Q 県内消費者が認めるべき、自然豊かな神石高原で育て、神石高原で育つ

Q 「神石牛」の再構築を総合的に進めようか。

A 町長 耕畜連携、和牛一貫生産も「神石牛」のブランド化に必要と考える。増頭には長期間が必要だが、「神石牛」の復活をぜひとも図りたい。

Q 3千頭飼育計画の実現に向けた取り組みは。

Q 飼育頭数は目標の半分程度だが、新規就農者なども頑張っている。計画期間中には目標達成できるように努力したい。



丹下乾三先生之碑

問 ブライダル事業の充実を 答 アドバイスする仕組みを検討 横尾 正文 議員

Q ブライダル事業の充実は出来な

Q 町長 アイベントではカップリングができていない。理由として「交代が継続力」の不足などが

アドバイスする仕組みを検討する。

Q 神石高原中学校の高原寮での学習支援はいいことだが、公教育の平等の機会という点では問題がある。全町に拡げるときは、また油木高校にも塾を創設し、魅力ある高校にするべきでは。

A 教育長 この教室は、寮生活の規律や礼節、学習習慣などの自主性を身に付けさせるものとして実施しており、学習塾ではない。また油木高校に関しては、魅力アップを検討する委員会を立ち上げ、将来にわたり持続可能な支援の仕方を検討する。

Q 講師は塾の講師であるから学習

支援であるし、学習習慣を身に付けさせるというのであれば、全町でやるべきだ。

A 教育長 中高連携校の良さを活用し、中高一貫塾を行えば、本当の中高連携校になるのでは。その結果、地元中学生の油木高校への進学率向上になるのでは。

町全域では、いろいろな課題があるので困難である。ただ今後は、多様な意見の中から方向性を見いだしたい。



連携型中高一貫教育スタート

### 問 周辺地域の医療体制は



橋本 輝久 議員

### 答 前向きに検討

**Q** 平成23年に豊松地区民の約8割の署名で、豊松地区に医療機関をとの陳情を行なったが、町立病院との関連から応じられないとの回答だった。旧豊松中学校跡地利用検討会での住民アンケート結果では、診療所を望む声が多くあり、住民の

**A** 町長 一番の願いだ。周辺地域の医療の充実を図るべきでは。医師確保が非常に困難である。広島県では、医師が増加しているが、中山間地域に配置されていないのが現状だ。施設の整備は可能だが、医師がいなくてはできない。町立病院のあり方を検討する中で、各地区の医療体制の確保について方向性を出していきたい。

**A** 町長 思うが。急激な人口減少に対応できる自治運営の仕組みを、協働のまちづくりの視点で構築しようと考えている。現段階では、補完機能の位置づけだが、具体的に活動ができる組織をイメージしている。今年度、自治振興連絡協議会などに具体的な説明を行う。また、地域に出向き説明も行う。



医療体制の充実を望む町立病院

### 問 病院改築に合わせ薬局を院内に



久保田 龍泉 議員

### 答 今年度中に検討する

**Q** 薬局は病院のすぐ前にあるが、高齢者には負担になり県道横断が危険だ。改築に合わせ薬局を院内に開設できないか。

**A** 町長 可能性について、今年度中に検討する。

**Q** 会計での待ち時間が長い。オーダリングシステムを導入されると待ち時間の短縮が期待される。進捗状況は。

**A** 町長 入札方式や導入時期について病院と協議中だ。

**Q** 処方箋や検査などの情報を入力

**A** 町長 する作業が必要だが、具体的な計画は。電子カルテとの一体の整備が必要であり、基本は26年度中に整備する予定。

**Q** 粗大ごみの回収は収集は一部自治振興会で回収しているが、以前のようには集積場での回収はできないか。

**A** 町長 環境衛生課長 高齢者のみだつた戸別収集の枠を広げ、直接搬入ができない家庭も行う。自治振興会で行う集団回収は、公衆衛生推進協議会で支援する制度を設けた。

**Q** 新しい支援の内容は。環境衛生課長

**A** 町長 自治振興会での回収で、戸数1戸200円補助、現在10kg150円だが100円にする。7月の広報で知らせる。

**Q** 支障木除去は高所の支障木除去は危険だ。計画を立てて対応できないか。

**A** 町長 建設課長 基本は主要路線を決め業者委託で実施している。地元で出来ないところは、役場が対応するという説明が必要だ。m当たり150円では無理なので検討しては。建設課長 危険箇所についてはケースバイケースで考える。

## 6月補正予算質疑

### 産業課

**久保田議員** 新規就農者支援事業は、制度が始まって以来何人助成し、何人町内で就農したか。産業課長 平成21年7月に制度ができ、これまで12人助成した。1人は都合で帰られたが、他は農業公社、農業法人などに就農している。

### 久保田議員

百彩館の食堂部門のテナントは、適当な時期に決断すべきでは。産業課長 日用品の陳列も検討し、百彩館とも協議している。

### 福祉課

**横尾議員** 国民健康保険税は、今後

広域の対応になるが、保険料のアップにならないのか。福祉課長 県内統一保険料(税)となれば、保険料(税)はアップになる。激変緩和策をとるように国・県に要望する。

### 保健課

**横山議員** 認知症カフェの開催状況と、どこへ委託されているのか。また、送迎はしているのか。保健課長 昨年

から三和地区で開催している。参加者も多いので豊松地区や神石地区でも開催したい。委託料は神石地区で開催する予定のカフェを「神石地区高齢者介護研究会」に委託する。

### 環境衛生課

**横尾議員** 不法投棄防止啓発看板を集積庫へ設置するが、不法投棄の状況と監視カメラの設置は。環境衛生課長 昨年度は、県の補助金を活用して不法投棄の撤去を数ヶ所行った。カメラは必要があれば設置する。

### 生涯学習課

**橋本議員** 文化財保護事業で、調査員、また整理員を配置して情報収集などに予算計上してあるが、なぜ6月補正対応か。生涯学習課長 昨年度は、文化財保護委

員で目録を作成をした。専門的な整理ができる人材の確保が確定したので、急ぎよ6月補正で対応した。

**橋本議員** 1年で到底完了しないと、思うが、計画性をもって取り組むべきでは。生涯学習課長 文化財保護委員と専門的に協議をしながら計画的に取り組んでいきたい。



議員勉強会

## 第3セクター販売状況

平成25年度

単位：万円(四捨五入)

会社名	売上	当期利益	施設管理料等	運営補助等
(株)神石高原農業公社	7,094	39		450
(株)帝釈峡スコラ	8,329	231	820	
(有)直売公社 まるごと市場	2億2,038	▲107		320
(有)油木特産販売 百彩館	7,838	▲7	18	153
(有)さんわ182ステーション	4億5,358	403	359	

総務 文教常任委員会

報告

研修月日

平成26年6月16日

研修場所

とよまつ保育所・油木保育所

指定管理者の有栖会が運営する保育所では、保護者と子どもと職員が連携をはかり、命の源となる食育に力をいれている。取り組みとして、毎日の給食の写真を貼り出して、子どもや保護者の方が目で楽しめる給食を心がけている。

町立の他保育所と同様に、平日18時30分までの延長保育や土曜日午後の延長保育を行っている。また、両保育所では、英語のうたあそびや、月2回の音楽療法士による音楽教室や、歯科衛生士によるはみがき指導、また、土曜日ごとの個人懇談で、保護者との連携を図

研修場所  
神石高原中学校

り、健やかな心身の発達を図っている。看護師と管理栄養士も配置している。指定管理者の要望  
油木保育所では、トイレが遠いので部屋にある駐車が少くないのが課題。

3校が統合し3カ月あまりだが、生徒間の溶け込みが早く、楽しく学校生活を送られている。バス通学により、クラブ活動の時間制約があるなか、それぞれのクラブでは、活発に活動している。施設については、使用中で不具合があるものは、業者による手直しとして随時修繕を行っている。



油木保育所 運営説明

産業 建設常任委員会

報告

調査日時

平成26年6月16日

調査事項

陽光の里トマト団地宮農組合との意見交換

調査結果  
①組合や生産者の課題について  
水が不足している。近いうちにポンプの更新が必要。

・繁忙期の労働力の不足  
・選果場の能力が不足している。  
・トマトの茎などの残さの処分が苦労している。  
②安田・李地区の新規第2トマト団地について  
・出資金を抑えないと入植者の募集は難しい。  
・入植者の農業体験をしっかりと行うこと。  
・立ち上り時には産業課に常任者を。



豊松 トマト選果場

まちの声

多数のご意見ありがとうございました。ご意見にお答えします。

○ケーブルテレビで朝の体操をしています。これから暑くなると涼しい朝に仕事したいので午後1時頃に再放送があればと思います。(女性)  
◎DVDの貸し出しもしていただけます。  
○みんなの町議会の発行を楽しみに読んでいます。今後の発展をお祈りします。(76才 女性)  
◎ありがとうございます。今後も努力していきます。

第21回 議会クイズ当選者

- 神石地区 佐久間スエ子さん
- 神石地区 藤井 睦子さん
- 油木地区 横山サキヨさん
- 神石地区 中山 賀代さん
- 油木地区 岡政 絹江さん

専決処分した事件の承認

条例制定・改正  
こんなことが  
決まったよ

- ・神石高原町税条例の一部改正
- ・神石高原町国民健康保険条例の一部改正
- ・工事請負契約の変更について  
●工事名 神石高原町旧来見中学校校舎・屋内運動場解体工事  
請負金額 63,504千円  
工 期 平成26年10月31日まで
- 工事名 旧焼却施設解体撤去工事  
請負金額 78,408千円  
工 期 平成26年12月26日まで
- 工事名 神石高原町立統合中学校校舎等新築工事  
工 期 平成26年5月30日まで
- 工事名 神石高原町立統合中学校付帯工事  
工 期 平成26年5月30日まで

地方財政の充実・強化を求める意見書

市町村合併の算定特例の終了を踏まえ、新たな財政需要の把握について対策を講じることなど。

教育予算の拡充・義務教育費国庫負担制度  
2分の1復元を求める意見書

学校施設整備、就学援助・奨学金など教育予算の充実に、地方交付税を含む国の予算を拡充することなど。

鳥獣の捕獲促進体制強化の速やかな実施を求める意見書

鳥獣被害防止対策交付金の予算を拡充させるほか、新設される指定管理鳥獣捕獲事業が十分活用され、実施計画を作成した都道府県に対し、財政支援を行うことなど。

議員 発 議

追跡 ありやあどうなったん?

地域おこし協力隊の挑戦 この町に暮らし  
この町を元気に!

一般質問でも取り上げられた「地域おこし協力隊」。現在4人の隊員が東京・横浜・京都・岡山から移住し活動している。地域おこし協力隊制度は、人口減少や過疎化が進み人材不足にもある地方において、地方での生活を望む都市部人材を受け入れ、最長3年間の期限付きで、コミュニティ活動の支援や、地域資源の発掘など、地域おこし活動や地域貢献活動を通じて、最終的には定住をめざすものである。  
本町では平成23年度から受け入れ、これまでに任期終了した2人が豊松地区と三和地区に定住している。  
豊かな自然環境や歴史、文化に恵まれた地域で生活することや、地域社会に貢献を望む都市部地域の住民は少なくなく、こうした人材を積極的に誘致することは、本町の人口対策や地域力の維持向上につながるものである。  
協力隊OBの「沖本成昭」さんに聞きました。  
現在、星居山の森林公園管理者として従事しています。3年間の地域おこし協力隊員としての活動を活かし、神石高原町の良さなど、新たな視点で町を元気にする一員として頑張っていきたいと思っています。



沖本さん

# 元気なグループ紹介だよ

## 井関新友会

地元の若者たち40人で構成される井関新友会の最も大きな活動は『井関大矢納涼花火大会』です。

「何より地域のみんなを喜ばせたい」

こんな想いで始まった花火大会は、地元の皆さまからいただく寄付により開催を続け、この度、9回目を迎えます。

イベント会場に所狭しと並ぶ屋台は、いずれも地元有志による手作り感満載のお店ばかり。イベントの最後に打ち上がる迫力満点の大花火は、澄みきった井関の夜空に舞う大輪の花。頭上に鳴り響く大音に身震いした後、やがて静かな感動に包まれていく…。

今年7月26日(土)開催。新たに加わった星の里いせきの気のいい仲間たちと共に、一段とパワーアップした新友会の活躍をお見せします。

この夏、さらに大増量。ついに大台の1,000発。ぜひお楽しみに。

会長 立原 耕一



発行責任者 議長 木野山孝志

住所 広島県神石郡神石高原町小島二〇二五

## 第22回 議会クイズ

《クイズ》空欄に適切な言葉をいれてください。

- ① 第2000回団地地形測量費
  - ② 議会報告会 主なご意見 子育て支援・〇〇〇対策
  - ③ 一般質問 人口〇〇にどう対応するのか
  - ④ 一般質問 「神石〇」の構築に向けた取り組み
  - ⑤ 元気なグループ紹介 〇〇〇〇〇
- 《ヒント》議会広報をよく読んでね。

### 《応募方法》

ハガキに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」議会への要望・ご意見なども記入してください。

正解者多数の場合は厳正な抽選により、5人の方に1,000円分のやまなみ商品券をお送りいたします。応募は、1人・1通に限らせていただきます。

《あて先》〒720-1152

神石高原町小島二〇二五神石高原町議会事務局 「第22回議会クイズ係 宛」

《締め切り》8月8日(金) 消印有効  
《個人情報取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報、賞品発送および『まちの声』などの目的以外には利用いたしません。

**議会を傍聴してみませんか 次回の定例会は9月です**  
日程は告知放送などでお知らせします 一般質問はケーブルテレビで放送します

## 人事異動



議会議務局長 藤井 義弘



議会議務局 主任 湯谷 美穂 (4月1日付)

### 議会広報常任委員会

- 委員長 橋本 輝久
- 副委員長 横尾 正文
- 委員 妹尾幸太郎
- 委員 横山 素子
- 委員 赤木 俊二